

都市空間環境マネジメント論（環境学研究科）／都市計画特論（工学研究科）

担当：加藤博和

（環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 臨床環境学コンサルティングファーム部門）

＜工学部環境土木・建築学科 環境土木工学コース 兼任＞

工学研究科 9 号館 309 号室、kato@genv.nagoya-u.ac.jp

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kato/jkato.htm>

※諸連絡は NUCT 経由で行います。質問等はメールで（研究室にはほとんどいません）

◆授業の目的・ねらい

都市域における人間活動が都市・地球環境に及ぼす影響メカニズムに関して、交通体系・産業構造・ライフスタイルによる環境負荷発生量の違いを定量評価する方法論と、環境負荷抑制に効果的な施策手法を中心に講述する。さらに、都市・地球環境面からの制約を考慮した都市空間計画・交通計画や、それを支援する財政システムのあり方について探求させる。

◆基礎となる専門分野・知識

できれば都市計画や交通計画に関する基礎的な知識があることが望ましい。

◆授業内容

- ①「環境に優しいだけでは都市は生き残れない」
 - ・ 環境制約下での都市マネジメントに求められる方向性
- ②「都市でどのような環境問題が起こっているのか？」
 - ・ 都市活動と各種環境問題との関係
- ③「環境にとって都市成長は悪か？」
 - ・ 都市成長に伴うモータリゼーションやライフスタイル変化が環境問題に及ぼす影響
- ④「環境への優しさはどのように計測されるのか？」
 - ・ 都市活動に起因する環境負荷の推計・評価手法
- ⑤「既往の道具立てで環境をどこまで分析できるか？」
 - ・ 交通システムや都市分析手法を環境問題検討に適用する方法
- ⑥「環境のために都市政策で何をなすべきか？」
 - ・ 環境に配慮した持続可能でレジリエントな都市・交通政策のあり方

◆教科書・参考書：特になし

◆成績評価の方法：レポート（数回、30%）＋最終発表会の発表内容・方法（70%）

◆キーワード：都市環境，地球環境，交通，環境負荷，環境評価

◆日程：月曜 5 限（16:30-18:00）、変更可能性あり（授業および NUCT で告知します）

1：4/17、2：4/24、3：5/8、4：5/22、5：5/29、6：6/5、7：6/12、8：7/3、9：7/10、（10：7/17、）11:7/24

最終発表会：日時・場所は未定（9月下旬の見込み、13～20時くらい）受講者それぞれが注目都市を3～5分でプレゼン